

◆日本女子大学 目白キャンパス

日本女子大学は創立120周年を迎えた2021年に目白キャンパスの再整備を行い、新しい図書館、教室・研究棟である「百二十年館」、学生棟である「杏彩館」を新設しました。ランドデザイン・設計は卒業生である建築家の妹島和世さんによるものです。

今回は家政学部住居学科教授の定行まり子先生に新しくなったキャンパスをご案内していただきました。定行先生とのご縁は2011年7月に郡山市で開催された「第22回女性建築士のつどい」に始まります。

住居学・建築計画学がご専門で、集合住宅、保育所、児童館など、幼児や子どもの保育、生活空間について調査研究を行っています。東日本大震災以降、被災地の支援のため、何度も福島を訪れています。

2012年7月に福島市土湯で開催された「第23回女性建築士のつどい」や、2023年11月に福島市で開催された「第34回女性建築士のつどい」にもお越しいただき、女性委員会の活動にも多大なご協力をいただきました。

今年3月をもって大学を退官されるとのことで、お忙しい中お時間を作っていただき、定行研究室の訪問とキャンパス見学が実現しました。

また日本女子大学家政学部生活芸術科住居専攻第一期生である建築家林雅子先生を記念した「第22回林雅子賞選定会」がキャンパス内で開催されており、その様子を見学することもできました。



「百二十年館」地下のパティオ



新しく完成した「図書館」



「百二十年館」で定行先生と写真撮影



「第22回林雅子賞選定会」を見学

◆江戸川橋エリア 散策



松尾芭蕉ゆかりの関口芭蕉庵

日本女子大学のある東京都文京区周辺には、数多くの名所・旧跡があります。

神田川沿いには江戸時代の俳人松尾芭蕉ゆかりの「関口芭蕉庵」や、700年以上の歴史を持つ旧熊本藩主細川家伝来の美術品・歴史資料を公開している「永青文庫」があります。

昼食会場の「ホテル椿山荘東京」では山縣有朋ゆかりの庭園を見学しました。四季を通して楽しめる椿や桜などの花々や国の有形文化財である三重塔、1日数回行われる雲海ショーを楽しみました。



関口芭蕉庵 松尾芭蕉の句



細川家伝来の美術品を収蔵する永青文庫



ホテル椿山荘東京でお食事



ホテル椿山荘東京の庭園 三重塔と雲海